

災害の記憶と記録を探しだし 継承する防災教育





学校安全の意義

■ 三段階の危機管理に対応した安全管理と安全教育

安全な環境を整備し、事件・事故災害の発生を未然に防ぐ

事前の危機管理

事件・事故災害の発生時に適切にかつ迅速に対処し、被害を最小限に抑える

発生時の危機管理

危機が一旦収まった後、心のケアや授業再開など通常の生活の再開を図るとともに再発の防止を図る

事後の危機管理

■ 学校安全の三領域

生活安全 → 日常生活で起こる事件・事故災害、誘拐や傷害などの犯罪

交通安全 → 様々な交通場面における危険と安全

災害安全 → 地震、津波、火山活動、風水(雪)害等や火災、原子力災害

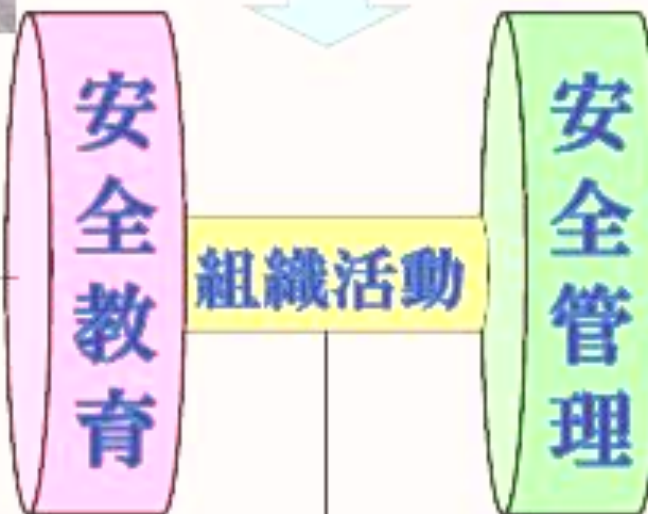
学校安全計画の策定・実施を通じて、児童生徒等が自他の生命財産を尊重し、自ら安全に行動し、
 1. 他の人や社会の安全に貢献できる資質や能力を育成、
 2. 同時に、児童生徒等の安全を確保するための環境を整えることをねらいとしている



学校安全計画
 (学校保健安全法第27条に基づく)



・保健体育科、社会科、理科、生活科、技術・家庭科、総合的な学習の時間、特別活動や個別指導等における安全に関する指導等



・安全点検の実施
 (学習環境の安全点検、避難経路の確認等)
 ・危険等発生時対処要領の作成と訓練の実施
 (各種災害における安全措置、不審者侵入時の対応等)
 等



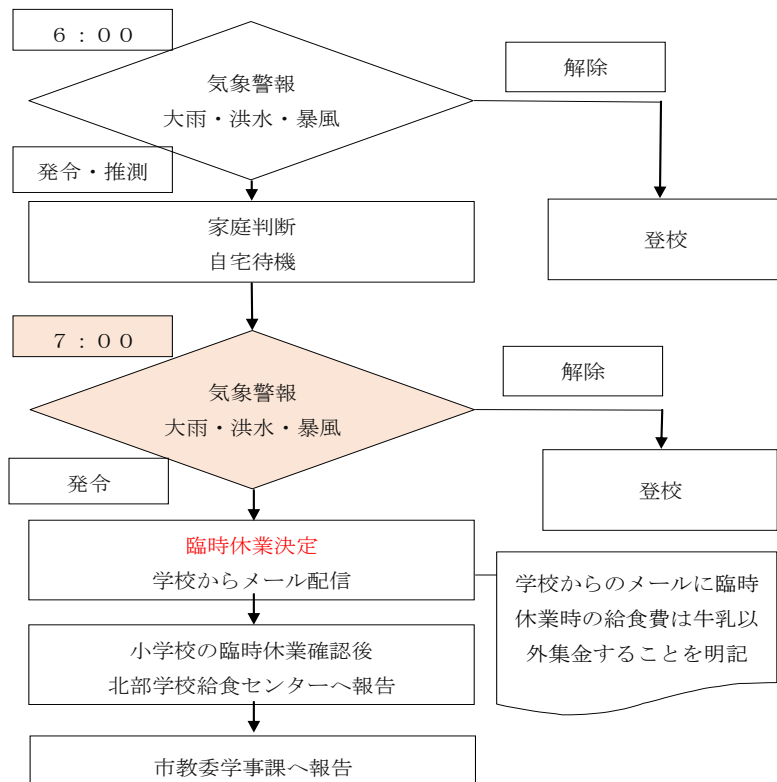
校内の協力体制・研修
 家庭及び地域社会との連携



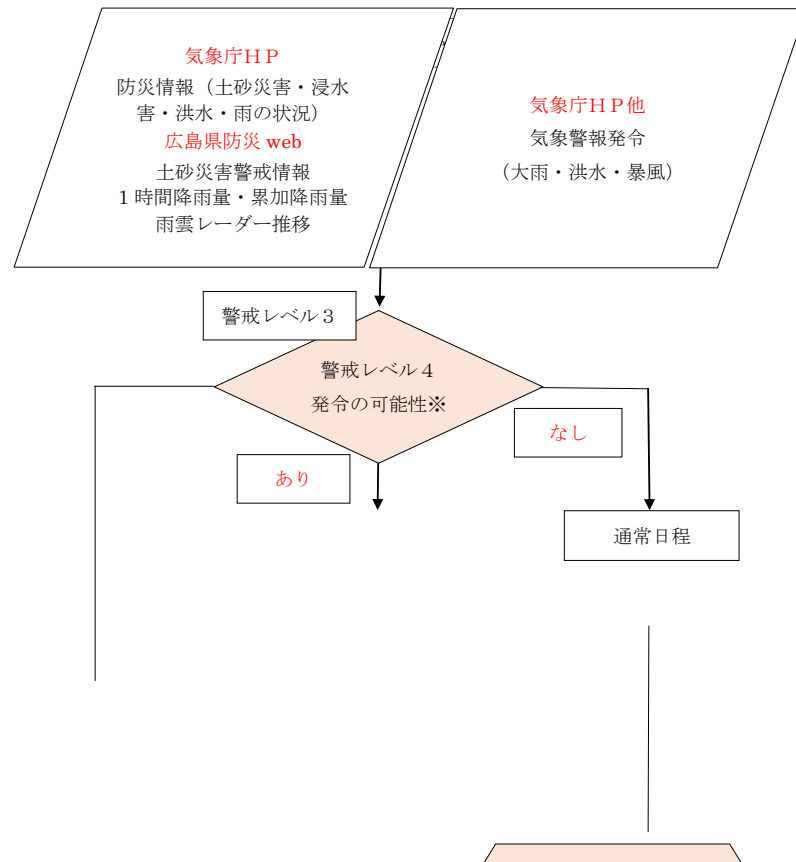
気象警報発令時の対応マニュアル

東広島市立豊栄中学校

1 登校前判断



2 登校後判断



**災害の発生に備え，教職員の役割分担や責任を
明確にし，組織での対応ができるように**

発達の段階に応じた防災教育



災害に遭った時、対応が出来る力の基礎を培う

- ア 「自然災害等の現状! 自然災害や震災等について知識を深め、現在及び将来に直面する災害に対して、的確な思考・判断に基づき適切な意思決定や行動を選択ができるようにする。 【知識・思考・判断】
- イ 地震、台風等の発生等に伴う危険を認識・予測し、自

身の安全確保や被害の軽減が出来るようにする。 【危険予測、主体的な行動】

- ウ 「自分の生命や心身、財産に對する社会的責任のしるし」を認識し、家族、家庭や地域・社会の防災対策に連帯する意気・能力し、貢献できるようにする。 【社会貢献・支援者の基礎】

【以上記述の
特性及び地
域実情に
応じた教育
を求めらる】

高等学校段階の目標

安全で安心な社会に生きるための自助・共助・互助の意識も、地域の防災活動や災害時の支援活動として、自らも積極的に参加し、行動できる生徒

中学校段階の目標

日常の備えや的確な判断のもと主体的に行動するとともに、地域の防災活動や災害時の助け合いの大切さを理解し、すすんで活動できる生徒

小学低学年の目標

日常生活の様々な場面に発生する災害の危険を理解し、安全な行動ができるようになることにより、みんなの安全に気配りできる!

幼稚園段階の目標

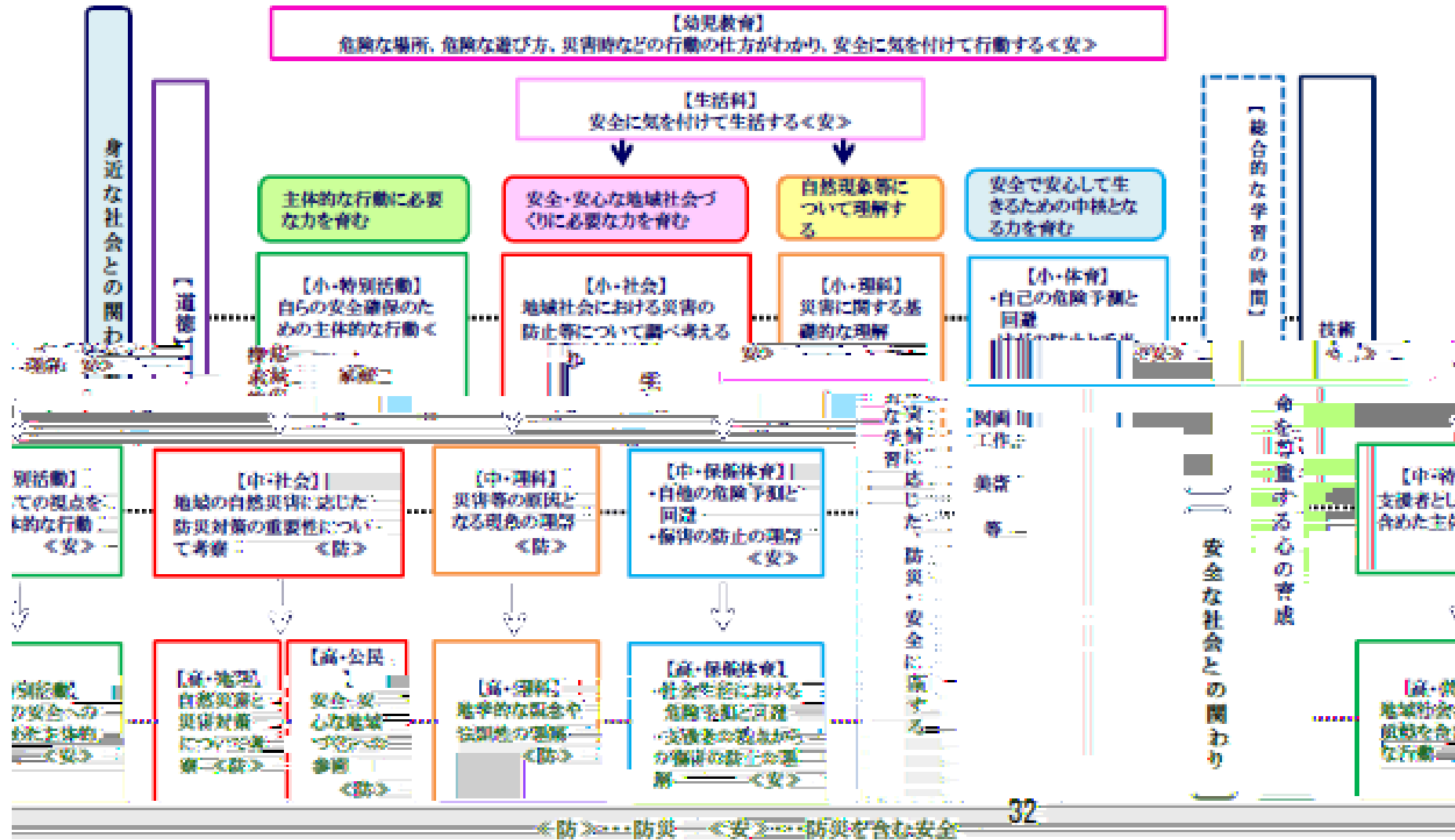
安全に生活し、緊急時は周囲に助けを求め、必要に応じて自らも行動できる。

障害のある児童生徒等)において、地域・障害の状態、発達の段階、地域の実情に応じた適切な場所や支援方法となり、必要な場合に適切な助けが出来るようにする。

児童生徒に育成すべき資質能力の整理表

幼稚園	危険な場所や事物が分かり、落ち着いて指示を受けて素早く行動できる。
小学校 (低学年)	近くの大人の指示に従うなど適切な行動ができる。
小学校 (中学年)	災害の時に起こる様々な危険について知り、自ら安全な行動ができる。
小学校 (高学年)	日常生活の様々な場面で発生する災害の危険を理解し、安全な行動ができるとともに、自分の安全だけでなく、他の人々の安全にも気配りができる。
中学校	地域の過去の災害や他の地域の災害例から危険を理解し、災害時の応急処置や的確な避難行動ができる。また、ボランティア活動の大切さについて理解を深める。

教科等横断的な視点から教育課程を編成



3 わたしたちのくらしと災害

雨がふり続いたり、台風などで大雨がふったりすると、川の水がふえて、災害が起き、わたしたちのくらしにえいきょうをおよぼすことがあります。川の水による災害から生命を守るために、わたしたちに何ができるでしょうか。



考えよう

大雨などで川の水がふえることによって、どのような災害が起きるかを考え、話し合みましょう。

- ① 下の絵を見て、それぞれ、どのようなきげんがありそうだと考えられるだろうか。
- ② 自分たちが住んでいる地いきて、大雨によって川の水がふえたとき、どのような災害が起きると考えられるだろうか。

理科のミカタ

大雨などによって、川の水がふえたとき、どのような場所、どのようなきげんがあるのか。



インターネット

使い方や見られる内容は、180ページよう。



大雨でふえた水によってこわされたてい防
[神奈川県 相模原市 相模川 2007年]



川の水がふえて、こう水が起きているようす
[福岡県 藤川市 矢部川 2012年]

図書館 担当

磯松中学校

1 目的

「防災食」の
知識と「知っている」「見たことがある」という経験値を高めるために、
物も同じ図書の展示と防災食調理実演のイベントを企画し、実施
を受けました。本校は災害
昨年7月の豪雨災害では本校校区内も床上浸水等の被害を受け、
被災者の方々の支援活動を行いました。

図書館からも支援いたします。
さらに本校だけでなく全国で取り組みやすい事例として
等で発信します。

【実施期間】令和元年9月9日(日)～令和元年9月12日(木)
【実施時間】令和元年9月9日(日) 12:20～40(給食配膳時間)
令和元年9月12日(木) 12:20～40(給食配膳時間)

【実施場所】磯松中学校区
【実施内容】
1 防災食の展示
2 防災食の調理実演
3 実施内容
4 実施内容

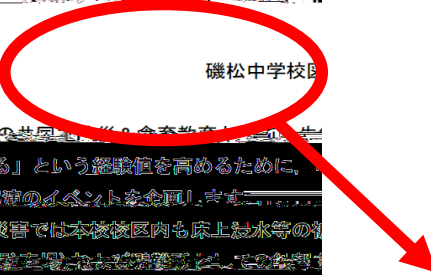
- 1日目 「お湯ほちゃ」調理法「ご飯を炊く」
①ポリ袋にお米と水を入れ袋を結ぶ。
②かべに水を入れ、①の袋を入れて加熱調理。かべのお湯は繰り返し使用可。
- 2日目 その他の調理法と非常食の紹介
①加熱不要のレシピ、炊飯器や電気ポットでの調理を紹介。
②防災食の調理実演
③新聞紙で食器を作る。

5 実施方法
① 1～4時間目に調理完成品を準備する。(調理時間3-5分以上のため)
② 当日給食配膳時間中の貸出作業
③ 当日給食配膳時間中の貸出作業

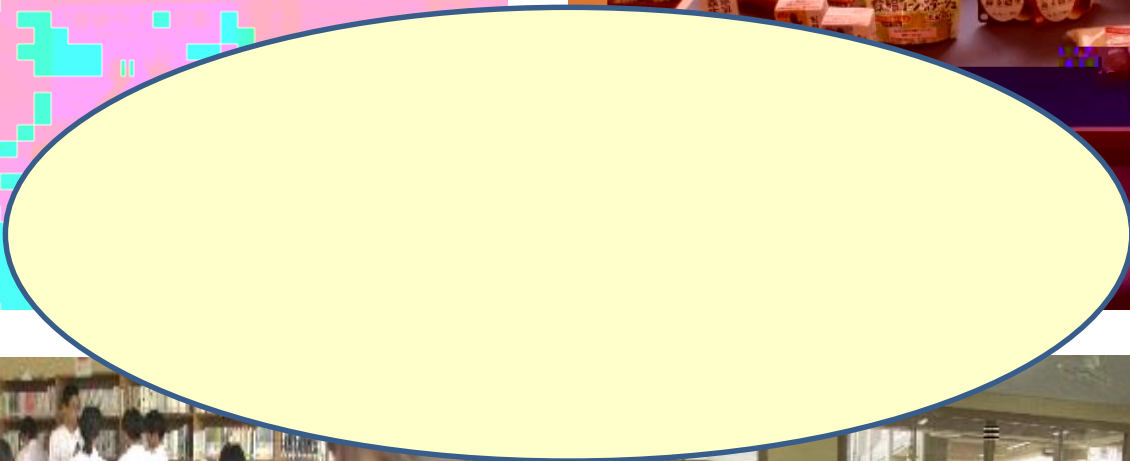
6 準備物

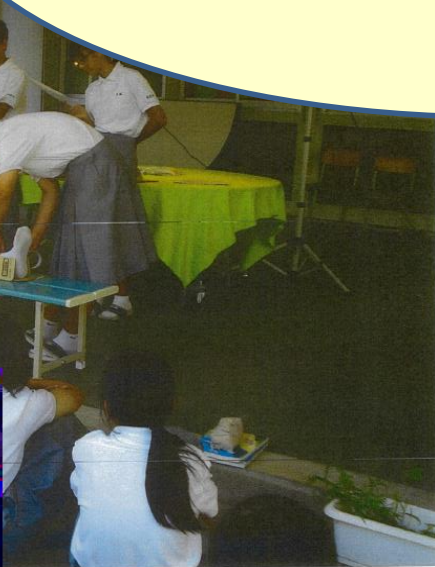
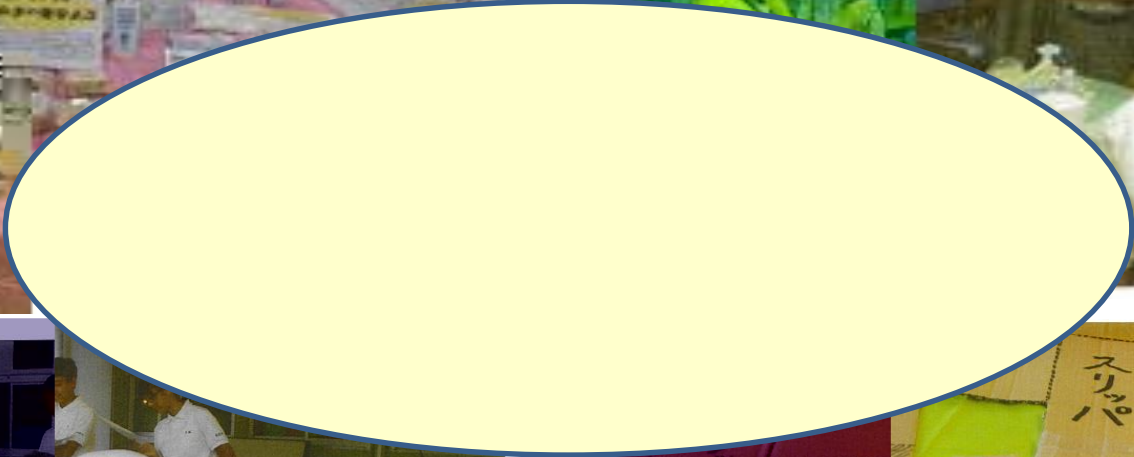
品名(実演用)	品名(展示用)
① ポリ袋	⑦ カンパン
② ママレードライス(100g)	⑧ 出番用紙
③ 水	⑨ 紙コップ
④ 水	⑩ 水

以上



教員から取組を







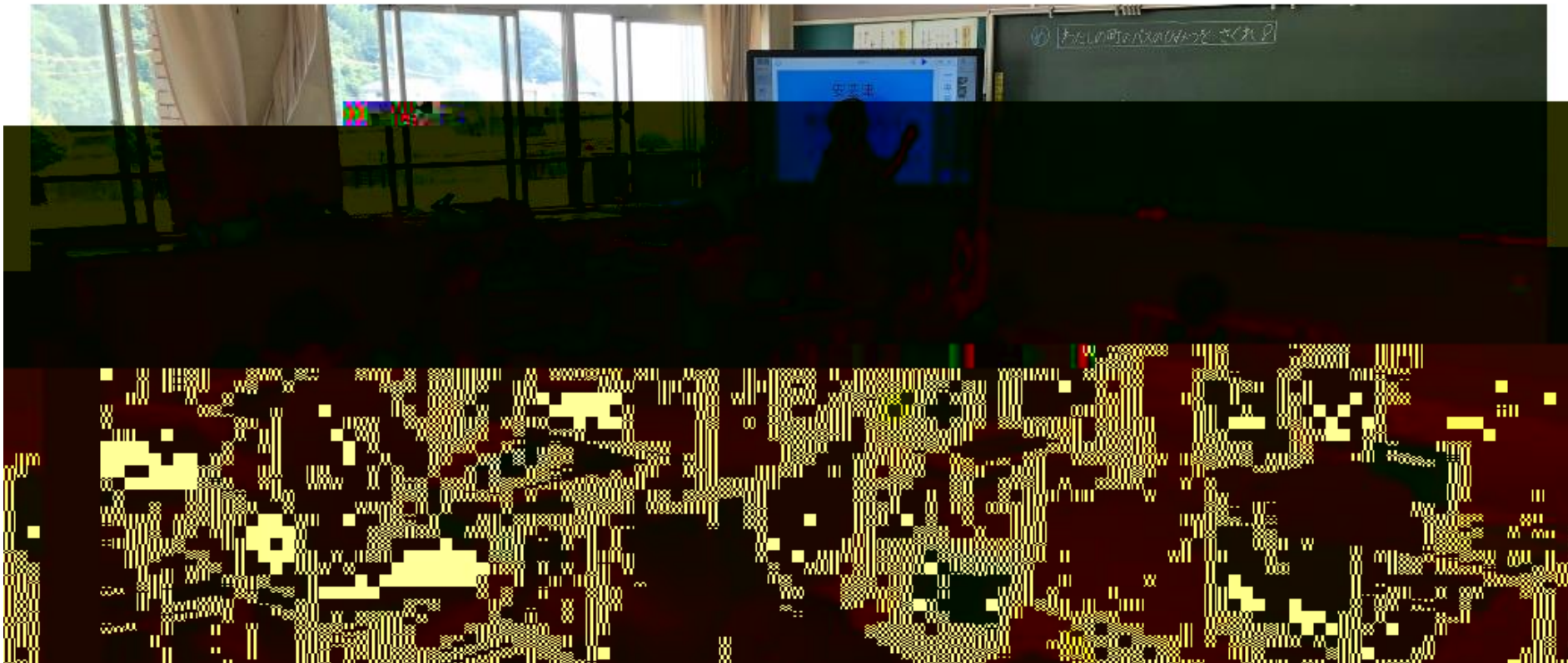
防災ビデオ撮影風景 令和元年11月



避難体験VR



中国新聞 令和元年6月19日 朝刊より



デジタルコンテンツの活用

学校同士の協働による学び

手厚いサポート体制



事前・事後の学習では
東広島市地域学習デジタルコンテンツ
(通称「のん太の学び場」)を活用します。



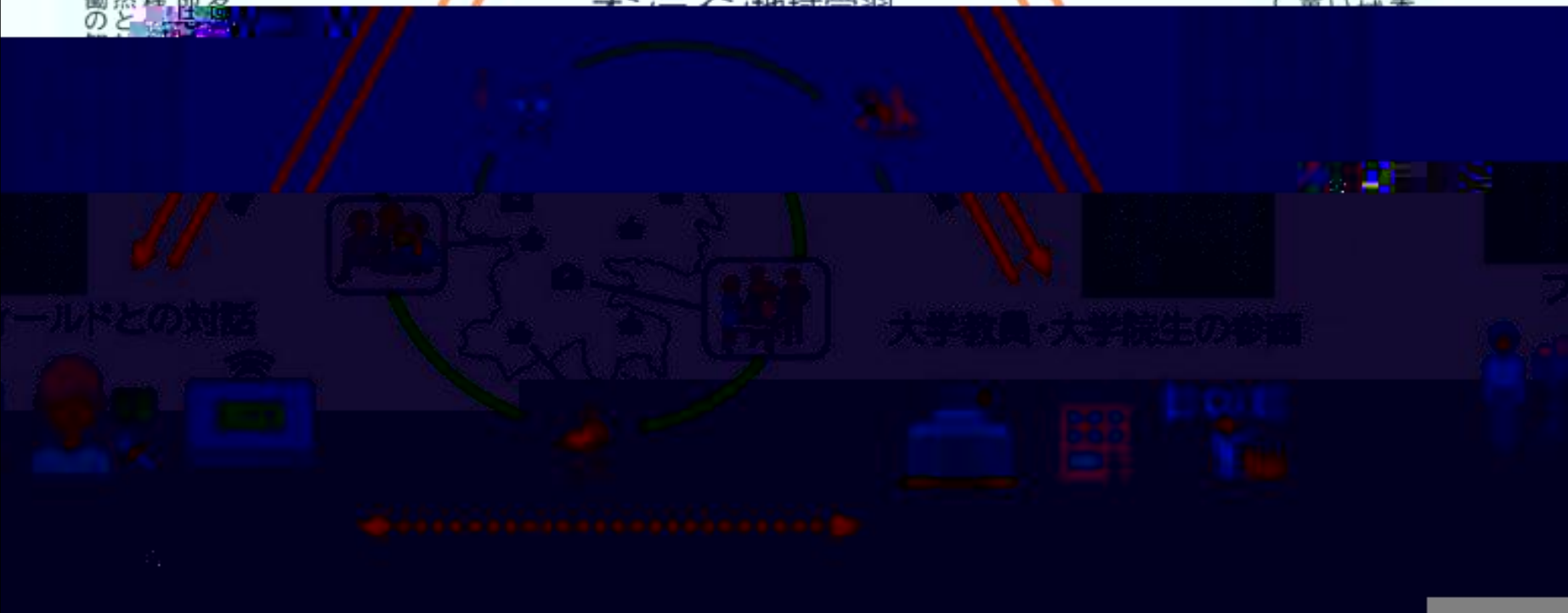
複数の学校といっしょに
フィールドと対話しながら課題に取り組みます
大学院生がICT活用をサポートします

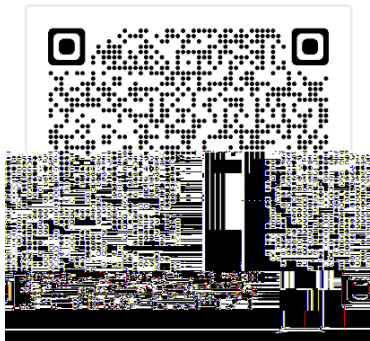


- ③ 協働の
- ② 自然と
- ① 多様な
- 市内9町

市内9町の小学校を結ぶ
オンライン社会科地域学習

- ③ I
- ② 見
- ① 深
- 教育





HP



広島大学にて授業をする様子（草原先生）



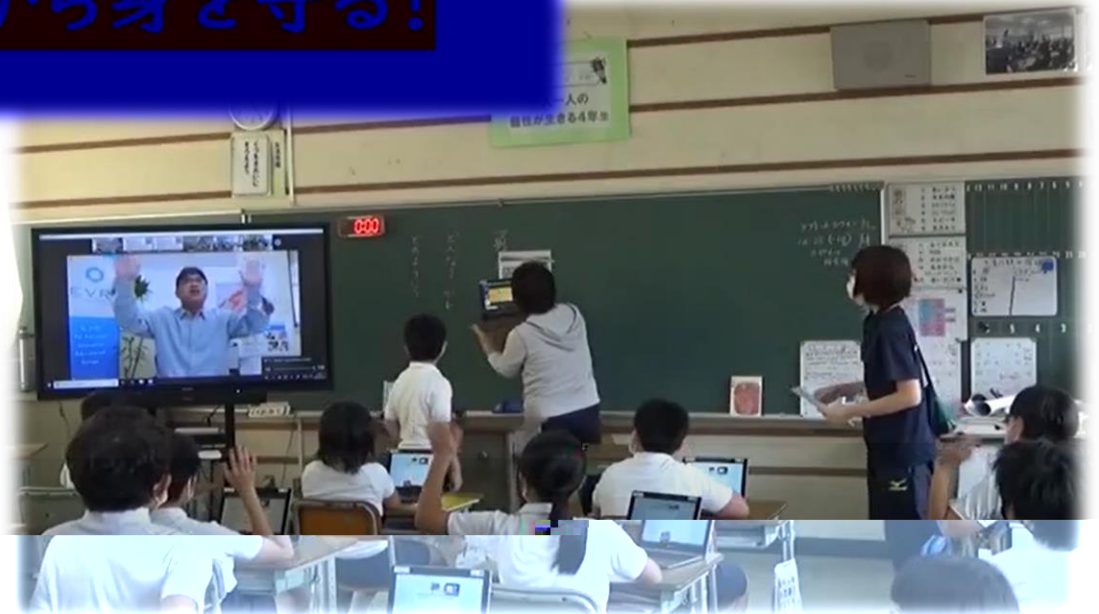
2021年9月15日(水)

東
広
島
ど
ん
が
市



広域交流型

さい害から身を守る!



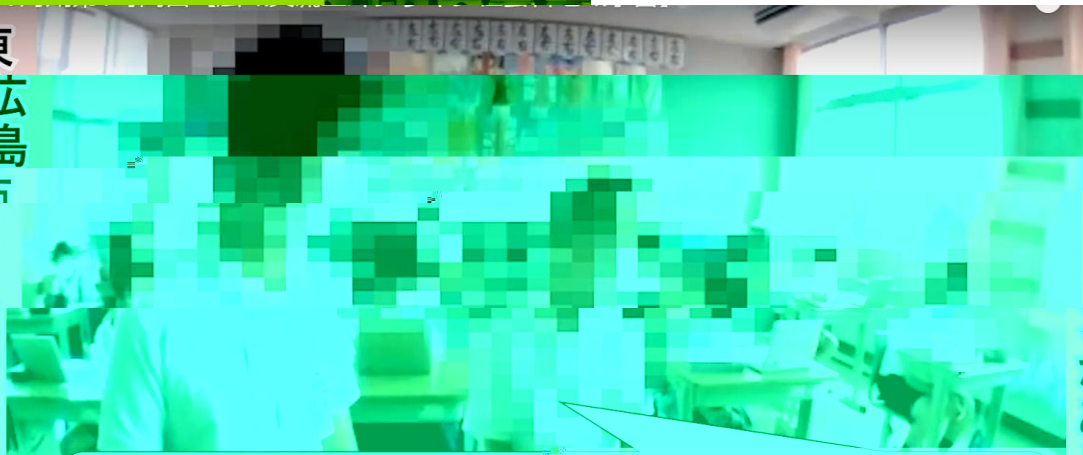
郷田小学校 4-1さん

東広島市には
どんな
大きな
キケン
があるのか

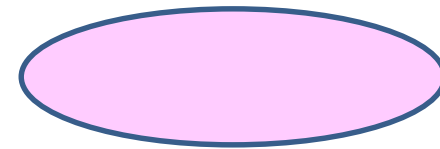
東広島市で一番多い さい害は何ですか？

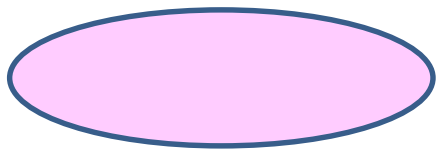


東
ど
ん
島
な
市
には
大きな
キケン
がある



水害のそとを知... ておけば... 水害に... ても





ドローンを用いた土石流現場の観察



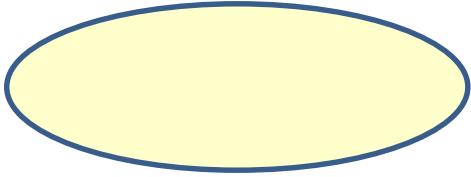
土石流の被害を伝える様子（岩佐さん）



災害のおこるところを予想する生徒



教師からの発問に悩む児童



ICT

ICT